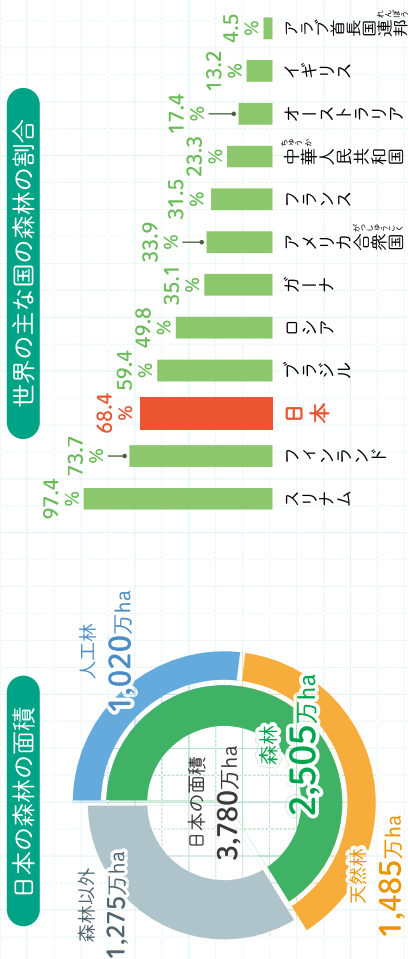


# 日本の森林

日本の国土は約3分の2が森林であり、世界の主な国と比べても高い割合で森林に恵まれている国です。



日本列島は南北に長く、地方によって気候が違います。さらに、海辺のような平坦な場所もあれば、険しく高い山もあり、地形の種類が豊富です。このような環境の違いに対応して、日本にはさまざまな種類の天然の森林があります。

**照葉樹林** (常緑広葉樹林)  
カシヤタブなどの温かい地帯で育つ照葉樹が中心の天然林

**常緑針葉樹林** (常緑針葉樹林)  
モミの木などの寒さに強い常緑針葉樹が中心の天然林

**落葉広葉樹林** (落葉広葉樹林)  
ブナなどの葉を落として寒い冬ののりこえる落葉広葉樹が中心の天然林

**熱帯多雨林** (熱帯多雨林)  
マングローブなどの雨が多い地域で育つ多雨林

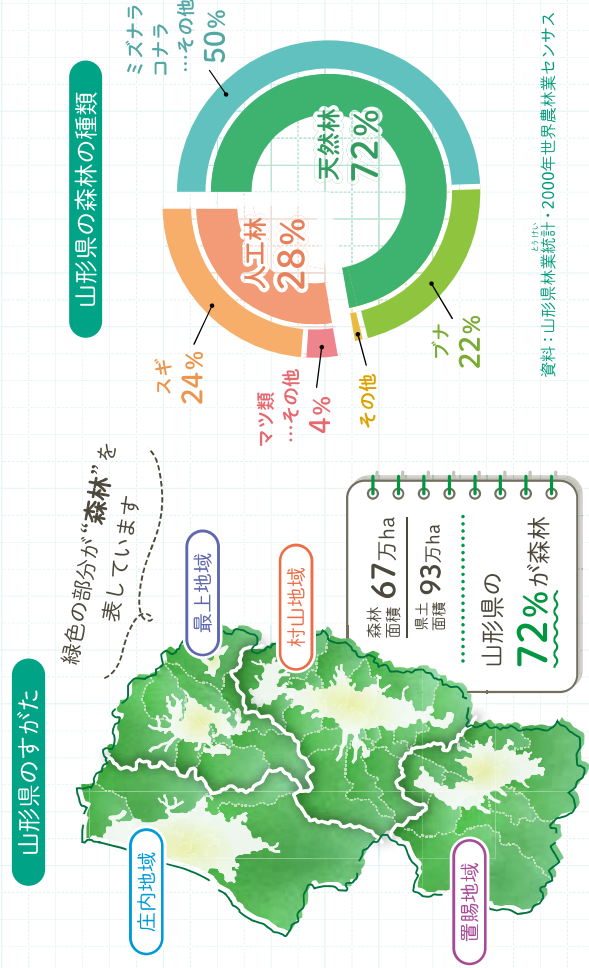
**寒** (北)

**暖** (南)

# 山形県の森林

わたしたちの住む山形県は、面積の約4分の3が森林で、落葉広葉樹が中心となる気候に属しています。

森林は大きく分けて、人が植えて育ててきたスギなどの「人工林」と、自然の力によって発芽し、森林になった「天然林」があります。天然林のうち、ブナの天然林の面積は日本一です。それぞれの森林が人々のくらしや生活環境と大きくかかわってきています。



## 山形県の森林についてまとめよう!

山形県には、( ) と ( ) という森林が広がっている。

山形県は、県土面積の ( ) % が森林である。

山形県の森林のうち、「人工林」の割合は ( ) %、「天然林」の割合は ( ) % である。